―コロナ禍で増加する読書時間

新型コロナウイルスの影響による外出自粛などで在宅時間が増加し、ライフスタイルや時間の使い方が変化してきている今日。日本財団が全国17～19歳の男女を対象に実施した「読む・書くに関する調査」によると、約4人に1人が外出自粛中に読書量が増加したという回答の調査結果が発表されました。

中央公民館図書室（以下、「図書室」）においても、貸し出し冊数と利用者数が年々増えており、昨年度の貸し出し冊数は1，894冊（前年比19％増）、利用者数は684人（前年比18％増）とどちらも前年と比べて増加しました。

―図書室の役割

図書室や図書館は「生涯学習の拠点」とも言われており、ただ本を貸し出すための場所ではありません。多くの辞書や辞典、図鑑を用いて調べものや自習ができる学習スペース、幼児向けの絵本や紙芝居等が揃う親子のためのスペースなど、さまざまな年代の方が利用できる地域の交流の場としての役割も担っています。

特集 利用しないなんてもったいない?!

図書室のすゝめ

子どもから大人まで誰もが利用できる図書室。さまざまな本が並ぶ本棚から手に取った１冊の中には思いがけない発見があるかもしれません―。
今回の特集では、知っているつもりで知らない図書室の魅力を紹介します。

仕事をする上での知識を得たい方、趣味を楽しむための情報が必要な方、自分や家族の健康などに関して調べごとがある方、旅行に行く前に旅先のことについて知りたい方など、子どもから大人まで誰もが有効に活用することができる空間です。

―さまざまなサービスの展開

図書室では、定期的に追加される新刊図書や他市町村図書館・県内図書館からのお取り寄せ、図書リクエストなど、多くの方々に本を楽しんでもらうためのさまざまなサービスを展開しています。

また、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心触れ合うひとときを持つきっかけ作りとして、子育て支援センターでのブックスタート事業も実施しています。

福祉センター図書室もご利用ください

図書の貸し出しなどは、福祉センター「やすらぎの里」内の図書室でも利用可能です。ぜひご利用ください。

■利用時間　午前９時～午後５時
■貸出期間　１カ月（新着図書は２週間）
■貸出冊数　１人５冊まで
■問 合 せ　芝山町社会福祉協議会 ☎78-0850